

東紀州の

遺跡をたずねて



鵜殿西遺跡と熊野川

令和7年11月22日(土)～令和8年1月12日(月)

会場 三重県立熊野古道センター特別展示室

〒519-3625 尾鷲市向井12-4

観覧料無料

観覧時間 10時00分～17時00分

休館日 令和7年12月31日、令和8年1月1日

アクセス

自動車をご利用の場合

●紀勢自動車道→尾鷲北IC→熊野古道センター

公共交通機関をご利用の場合

●JR 尾鷲駅→熊野古道センター(ふれあいバスで約20分)

問合せ

三重県埋蔵文化財センター TEL:0596-52-1732 FAX:0596-52-7035

三重県立熊野古道センター TEL:0597-25-2666 FAX:0597-25-2667

主催：三重県埋蔵文化財センター・三重県立熊野古道センター

展示解説会

参加無料 事前申込不要

令和7年11月22日(土)

午前の部 11時00分～11時30分

午後の部 13時30分～14時00分

三重県埋蔵文化財センターの職員が解説を行います

講演会

聴講無料 事前申込必要

令和7年12月21日(日)

13時30分～15時30分

会場：三重県立熊野古道センター

展示棟 映像ホール

「東紀州を掘る」

講師：若井 啓奨(三重県埋蔵文化財センター職員)

「鵜殿西遺跡から見る東西交流史」

講師：水谷 侃司(三重県埋蔵文化財センター職員)

講演会の申込について

申込期間 11月20日(木)～12月20日(土)

定員 80名(座席は当日の先着順となります)

方法 電話による申込

申込先 三重県立熊野古道センター

TEL:0597-25-2666



道瀬遺跡 製塩炉(紀北町)



鵜殿西遺跡 溝(紀宝町)

海と山に抱かれた東紀州地域は、熊野灘を介して多くの人やものが行き交い、平安時代以降に熊野詣が盛んになると、新宮（和歌山県）の周辺は大きく発展しました。

近年行われた熊野川河口部の鵜殿西遺跡の発掘調査では、中近世の様々な地域の土器・陶磁器が出土し、地域発展に伴う活発な物流の様子が明らかになっています。

今回の展示では、鵜殿西遺跡を中心に、東紀州地域における発掘調査の成果等を紹介します。

遺跡と所在地	主な時代	展示資料
後呂地(うしろじ)遺跡 熊野市	江戸時代～明治時代	瓦、窯道具
鵜殿西(うどのにし)遺跡 紀宝町	鎌倉時代～江戸時代	国内外生産の陶磁器
岡地(おかじ)遺跡 熊野市	鎌倉時代～江戸時代	陶器
道瀬(どうぜ)遺跡 紀北町	古墳時代～鎌倉時代	土師器、須恵器、製塩土器
ハサマ遺跡 熊野市	鎌倉時代～江戸時代	陶磁器
多田ヶ瀬(ただがせ)遺跡 紀北町	弥生時代～古墳時代	弥生土器

そのほか、三重県における考古学の礎を作った鈴木敏雄氏が収集した資料、熊野市にあった鍛冶屋(音鍛冶)にまつわる資料など、三重県埋蔵文化財センターが保管する東紀州地域の遺物や民俗資料が一堂に会します。



瓦窯(かわらがま) 後呂地遺跡



石鍋(長崎県西彼杵産) 鵜殿西遺跡

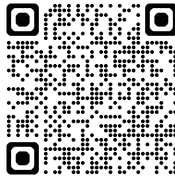


陶器 瓶(愛知県常滑産) 鵜殿西遺跡

埋蔵文化財センター



展覧会について



熊野古道センター

